

施しました。この会の中で、様々なご意見、それから情報、要望等が交換されましたが、具体的に早速中学校の授業研究会に2つの高等学校の校長と職員が参加したり、それから中学校の1学期末には、それぞれの高等学校の職員と生徒が来校して説明をしたり、さらにこの9月には、地区校長会でこれも初めてとなりますが、西置賜地区内の中高合同校長会を持つことを計画しております。確かな変化が表れているなど実感しているところです。今後、長井市の将来像を見据えた学校連携の縦横の広がり、それらの取組を模索していきたいなと思っているところです。

○浅野敏明議長 2番、勝見英一朗議員。

○2番 勝見英一朗議員 3番目のカリキュラムの弾力的運用については、GIGAスクール構想でICT機器が整備されておりますので、学校間の共同の授業なども可能だろうと考えているところです。

それから、教科担任制については、なかなか急に進むところはないようなんですが、この前どなたか話ししておりましたが、学校に行きましたら、職員室には誰もいなかったと、みんな指導で、授業の補助などについていて、誰も職員室にいけない状況だったとおっしゃってましたけれども、そういう中で教員が配置されればいいなと感じてるところです。これが早く進めばいいと感じております。

そして、中高連携については、今進展ありますけれども、この先を大いに期待したいと思います。

以上で質問終わります。

○浅野敏明議長 ここで暫時休憩いたします。再開は午後1時といたします。

午後 0時00分 休憩

午後 1時00分 再開

○浅野敏明議長 休憩前に復し、午前に引き続き会議を再開いたします。

それでは、市政一般に関する質問を続行いたします。

鈴木富美子議員の質問

○浅野敏明議長 順位3番、議席番号10番、鈴木富美子議員。

○10番 鈴木富美子議員 午前に引き続きまして、3番目に質問させていただきます。

暑い夏が駆け足でやってきたと思いましたが、お盆には雨が降り、残暑のないまま秋の気配を感じる今日この頃です。異常気象によりまして全国各地で豪雨による土砂災害や河川の氾濫により犠牲になられた皆様には心よりお見舞い申し上げますとともに、一日も早い復興、復旧をお祈り申し上げます。

昨日でパラリンピックも終わり、素晴らしい感動と勇気をいただきました。コロナ禍の中で選手たちはどんな思いで大会に臨んだのでしょうか。感染症が蔓延してる中での大会は、大会を支えてきた役員の皆様、ボランティアの皆様も相当なご苦労があったことと思います。一人の国民としてお疲れさまでしたの言葉を述べたいと思います。

また、全国に新型コロナウイルス感染症が蔓延している現在、医療従事者の皆さんには心より感謝申し上げたいと思います。

何がよくて何が悪いのか、自分の行動に自信がなくなりますが、一人一人がしっかりと予防対策をすることが一番だと私は思います。

今だからこそ対策をしながらできることを考えていくときなのかもしれません。家族の在り

方や地域の在り方、行事の見直しなどなど様々なことを考えられるかもしれません。

それでは、9月議会はアフターコロナにおける観光事業とボランティアガイドの活動について質問いたしますので、ご答弁よろしく願いいたします。

初めに、長井ダム10周年の成果と挑戦という、山形新聞記事が先日載せてありました。ながい百秋湖は、新緑や紅葉など四季折々の景観が楽しめて、観光資源として素晴らしいと感じております。また、ダム周辺では営業活動が可能になり、水陸両用バスや、展望所にはスイーツ店がオープンするなど、長井の新たな観光名所になっているようです。

そこで、観光文化交流課長にお聞きいたします。アフターコロナだからこそ、アウトドア観光が今後ますます人気になると思います。現在行ってる事業のほかに考えている事業があればお聞かせください。

○浅野敏明議長 赤間茂樹観光文化交流課長。

○赤間茂樹観光文化交流課長 アウトドア観光についてご質問いただきました。

本市におけるアウトドア観光につきましては、以前はほとんど参入できてなかったかなと感じております。一般社団法人やまがたアルカディア観光局ができてから、アウトドアにつきましては、先ほど鈴木議員からご紹介ありまして、この前の山形新聞の記事にもご紹介いただきましたけれども、長井ダム湖の活用に着手してから自然環境を活用した観光ということで、一気に可能性が広がってきているものと感じています。

まず、現在行っている事業ですけれども、水陸両用バス、それから、秋の遊覧船事業、こちらはやまがたアルカディア観光局で取り組んでいる事業でございます。そのほかに三淵溪谷へのゴムボートツアー、こちらはNPO法人最上川リバーツーリズムネットワークさんのほうで行

っていただいている事業です。そのほかに、今年から長井ダムのオープン化に伴いまして、長井ダム展望所でタルトなど飲食を提供できる、そういった場所も設けられております。そのほかSUPといいまして、スタンドアップパドルボートということで、サーフィンボードの上に立ってこいでいくようなアトラクションとか、水上自転車などもこの前、こちらでも新聞でご紹介いただいたところでございます。

やはり昨今、コロナの影響もあると思いますけれども、いわゆるアウトドアでの活動型、体験型の観光というのが非常に人気を博していると思っております。ウォータースポーツやその他アクティビティ、キャンプやら野外でのバーベキュー、そんなところが人気のようでございます。今後も自然環境を生かした体験型の組合せの事業が強い集客力があるのではないかと考えておまして、今後の事業をその方向で見込んでいるところでございます。

こういった中、やまがたアルカディア観光局を中心に事業メニューを積極的に検討して実施しているところですが、今後、昨年試験的に行いました雪板遊びとか、「OMIKIと食の饗宴」という催し、これは地酒と地元の食材を使って、野外でレストラン形式で食事を提供していくという事業でございますけれども、こういったところがやっぱり今後伸びてくるのかなと思っております。また、バーベキュー体験とアウトドアの体験型を一緒に組み合わせて計画していくというような予定にしております。

こういったアウトドア分野を広げるに当たりまして、今年、大手アウトドア企業とやまがたアルカディア観光局の間でフレンドエリア登録という手続を現在進めています。長井市としても、その大手アウトドア企業と今後包括連携協定に向けて準備を進めているところでございます。この取組によりまして、山岳方面で、朝日連峰の南のほうといたしますのは、非常に整備が

遅れていると認識しておりますけども、当地域での活動を、この大手アウトドア企業の100万人の会員の皆様と同社の情報力、それから発信力、これまでの培ったノウハウなどを生かした、こういった事業展開を今後進めてまいりたいと考えてるところでございます。

○浅野敏明議長 10番、鈴木富美子議員。

○10番 鈴木富美子議員 アウトドアにはいろんな魅力があると私も思いますので、大手企業と、フレンドエリアの登録手続きをしているということで、大いに期待したいと思います。

先ほどのSUPと水上自転車ですかね、それは実際いらした方は何人ぐらいいらっしゃるのか、それとも体験だけだったのか教えていただきたいと思います。

○浅野敏明議長 赤間茂樹観光文化交流課長。

○赤間茂樹観光文化交流課長 SUPと水上自転車につきましては、今年度、最近始めたばかりということで、ちょっと本日参加人数までは把握しておりませんが、こちらにも過日山形新聞に掲載していただきましたが、参加者は非常に好評だということで、手軽に楽しめるスポーツとして人気が出てきそうな感じがしております。現在、合池沢は湖面広場のほうですけども、長井市で占用許可取っておりますので、そちらを中心にこのような水上上面での事業も今後進めてまいりたいと思っております。

○浅野敏明議長 10番、鈴木富美子議員。

○10番 鈴木富美子議員 ぜひ進めていただいて、安全にだけ気をつけて行っていただければと、期待したいと思います。

次に入ります。どこの市町村でもいろいろな魅力を発信して、交流人口の増加に努力してるとは思いますが、長井市の観光の中でどこにも負けない魅力を持っているところはどのようなことだと思いますか、観光文化交流課長にお聞きいたします。

○浅野敏明議長 赤間茂樹観光文化交流課長。

○赤間茂樹観光文化交流課長 長井市民がどこにも負けないと思ってること、それから長井市を訪れた方が長井市に来てどこにも負けないものでないかと思ってることというのは、若干違うのかなと思いますが、ここでは訪れた皆さんのお話を聞いた上で、他市町村に負けてない魅力があるのではないかと聞いたところをお答えしたいと思います。

まず、わざわざ長井市に見たい、行ってみたいということで訪れる場所などですけども、やはりあやめ公園であったり、三淵溪谷、木地山ダムの風景、古代の丘、三階滝、石淵溪谷、それに加えて、やっぱりまちなかの川に咲く梅花藻などが上げられているようです。これらの資源につきましては、長井市だけでなく、アルカディア地域といいますか、やまがたアルカディア観光局が行っている2市3町のほかの観光資源と合わせることで、来ていただいた方にはさらに魅力的に感じるのではないかなと思っております。

また、ボランティアガイドに代表されますように、実はこの長井の人々も非常に魅力の一つだということで伺っております。長井の人々につきましては、私が申すのもおかしな話ですが、決して派手ではないですけども、飾らない、この地に根差した生活から生まれる誇りや思いやりのあるおもてなしと言われております。その辺に魅力を感じるということで、大切な要素になってるのかなと思っております。そのため、ボランティアガイドなどには感謝の手紙も多数いただいておりますし、こうした長井の人々も観光の重要要素になってると私は思っているところでございます。

○浅野敏明議長 10番、鈴木富美子議員。

○10番 鈴木富美子議員 ボランティアガイドの皆さんのおもてなしは、私も会員になっておりますが、素晴らしいおもてなしぶりには感銘いたしております。

ボランティアガイドの件につきましては後ほど質問いたしますので、今観光文化交流課長の話の中に梅花藻が出てきましたけども、可憐で、見る人の心を優しくしてくれる花だなと個人的に思ってます、大好きな花です。この梅花藻について、河川清掃と梅花藻の保存との関係はどのようなになっているのかお聞きしたいと思います。

○浅野敏明議長 赤間茂樹観光文化交流課長。

○赤間茂樹観光文化交流課長 まちなかの河川に咲く梅花藻につきまして、まず河川というのは、昨今のような大雨が降るとやはり氾濫するということもありまして、まず第一は人命、そして財産を守るということが大切になります。そういったことから、河川清掃では川の水の流れを阻害するようなものを取り除く作業を行っているわけですが、根こそぎ全部清掃するのではなくて、最近はある程度梅花藻を残していただきながら、ほかの水草などを中心に取り除いていただいたりして、川の流れの確保を行っていただいと伺っております。そのように市民の皆様にも大分梅花藻についてのご理解が浸透してるなと思っております。

○浅野敏明議長 10番、鈴木富美子議員。

○10番 鈴木富美子議員 やはり災害との関連も大変だと思います。観光も大事ですが、観光文化交流課長のおっしゃるとおり、人命も大事ですので、やはり梅花藻が増えてしまったりすると、どうしても根が張ってしまうということの心配もありますので、その辺うまく調整いただいて、地域の方にも分かっていただきながら、梅花藻を少しでも残していただきたいなと思っておりますので、よろしく願いいたします。

次に移ります。観光客の皆さんに長井市でお金を落としてもらい、市内業者が利益を上げるということが私は重要だと思いますが、そのためにしている事業などはあるのでしょうか、お

聞きしたいと思います。

○浅野敏明議長 赤間茂樹観光文化交流課長。

○赤間茂樹観光文化交流課長 先ほどの答弁で魅力ある場所を幾つかご紹介申し上げましたけども、そこに行く手段や案内、そして何かしらのそこでのサービスというのがないと人は訪れることができません。まず市外の人が長井市内の素晴らしい場所を訪れる仕組みとして、その場所での体験を提供すること、そういったことが最初の直接的な営業という形になると思います。この部分は、これまでなかなかできなかった部分でございますけども、やまがたアルカディア観光局ができてからは、旅行の企画とともにやまがたアルカディア観光局のほうで、実際に現場でいろいろな方に参画していただきまして、まず第一番に訪れたところでの受皿というものを対応していただいております。次に目的地として訪れた場所、そこだけの収入では地域の経済活動にはつながりませんので、魅力ある場所と体験、そのほかに次の付加価値が大切になってくると思います。それは、長井市での食事であったり、ほかの体験とか、またはお土産品などということになりますけども、これをやまがたアルカディア観光局ではツアー企画として提案して、市内を巡る旅行ということでお金を使っていたり場面を設けていただいております。

昨今、コロナの影響で市内を巡るツアーはなかなかできなかったのですが、これまでの実績といたしましては、「まる得セットクーポン」やバス補助などを使いまして、見る、楽しむ観光とセットで市内での、例えば米沢牛を堪能する企画とか、市内で昼食を取っていただいからほかの場所に出かけるというような、そういった取組を行ってきております。いずれにしても、このようなプランには多くの市民の方、多くの事業者の方が参画していただかないとなかなか市内での収益が上がっていきませんので、もうちょっと市民及び市内の事業者の方に働き

かけをしなければいけないかなと思ってるところでございます。

○浅野敏明議長 10番、鈴木富美子議員。

○10番 鈴木富美子議員 やはりコロナ禍の中ですから、市外のお客様、今難しいと思います。私は今だからできることがあるのではないかと考えております。例えば市内限定ツアーとか、市内の業者さんをお願いして、市内の人に限り、日頃行ってみたいけどなかなかチャンスがない方とか、またおうちご飯が多くなっていて、主婦への負担がちょっと大きくなってののかなとはちょっと思ったところもありまして、主婦へのご褒美として食のツアーなどの企画などはできないものかと思っておりますが、いかがでしょうか。

○浅野敏明議長 赤間茂樹観光文化交流課長。

○赤間茂樹観光文化交流課長 市民向けの企画ということで、ご提案ありがとうございます。確かにそのような観点で取り組むことも必要だなと思っております。また、昨年ですね、長井市観光協会で「長井おいしさ発見の旅」というパンフレットっていいですか、両面刷りの1枚物のチラシみたいなものなんですけども、市内の58店舗の方に賛同いただきまして、お店や一押しのメニュー、またはお菓子などの商品のご紹介をするものを、観光交流センター道の駅川のみなど長井を中心に配布しております。そういった取組もしておりますので、もう一回、市民の皆様には改めて長井市内のいろいろなお店などを見ていただく機会をつくっていただければいいかなと思っております。市民向けのものにつきましても、前向きに進めてまいりたいと思っておりますので、よろしくお願いたします。

○浅野敏明議長 10番、鈴木富美子議員。

○10番 鈴木富美子議員 やはり食事に行けない今の時代ですけども、市民の方にもうちょっと、コマーシャルが足りないのかなと。後で分かって、あっ、こんなのもあったんだねという

方の声が大きいので、やはりいろんなことを企画しても皆さんに届いてないところが、せっかくいいことやってるのになと思うところがありますので、広報のほういろいろ考えていただきまして、しっかりと本当に皆さんに分かりやすいようにしていただければと思っておりますので、その辺どうでしょうか。

○浅野敏明議長 赤間茂樹観光文化交流課長。

○赤間茂樹観光文化交流課長 長井市民向けに市内の様々な情報提供というのは、例えばおらんだラジオの番組のほうでお店のご紹介をさせていただいたりしておりますけども、考えられる手法として、先ほどの「長井おいしさ発見の旅」を市民に配布するというのも、一つの方法かと思っております。今即答できるものはございませんけども、インナープロモーションということで、今まで観光客向けということで外向けの宣伝の仕方ばかりだったんですが、内向けの宣伝というものも非常にこれ大切だなと思っておりますので、今後の取組課題とさせていただければと思っております。

○浅野敏明議長 10番、鈴木富美子議員。

○10番 鈴木富美子議員 ぜひよろしくお願したいと思います。

次に移ります。今年野川まなび館の西に整備しましたバーベキュー広場の活用はどのように行うのでしょうか。また、バーベキューを行った後にごみ問題が発生する可能性があると思っております。ごみの放置があった場合、獣動物が集まってくることも考えられますが、その際の鳥獣対策はどのように考えているのか、観光文化交流課長にお聞きしたいと思います。

○浅野敏明議長 赤間茂樹観光文化交流課長。

○赤間茂樹観光文化交流課長 昨年度の事業になりますけども、野川まなび館の西、置賜野川上流側の広場にやまがたアルカディア観光局の事業拡充の一環でバーベキュー広場を整備させていただきました。これにつきましては、地方創

生推進交付金を活用いたしまして、やまがたアルカディア観光局の事業を5か年計画で進めておりますが、その計画の中の一つということでございます。

それで、この地方創生推進交付金を活用した事業ということですので、主に、まずはやまがたアルカディア観光局で企画する、例えば長井ダム観光の一環でそのバーベキュー広場を使用するという計画をしておりました。もともと、コロナの影響でなかなか活用できる状況ではないのですが、ご質問にありましたとおり、ごみの問題もございます。やまがたアルカディア観光局の企画事業で使用した際には、全てのごみは持ち帰ることにしておりますけれども、その部分の、ある程度のしっかりしたルール決めをしておかないと、なかなか一般開放できないのかなとも思っておりますし、熊も時々出没するような地域でございますので、周りの動植物などに影響がないように配慮して管理していかなければならないと思っております。

○浅野敏明議長 10番、鈴木富美子議員。

○10番 鈴木富美子議員 あその環境は石淵溪谷や山野草の自生などすばらしいところだと思います。観光文化交流課長のおっしゃるとおり、しっかりしたルールを設けた上で、多くの皆さんにおいでいただき、食を堪能し、自然を満喫してほしいと思っております。

広場の近くには置賜野川が流れておりますので、川遊びとか釣りなどができる環境はあるのかどうか、観光文化交流課長にお聞きしたいと思います。

○浅野敏明議長 赤間茂樹観光文化交流課長。

○赤間茂樹観光文化交流課長 整備しましたバーベキュー広場のすぐ隣には石淵溪谷、これ岩場でございますので、そこからは川に降りることはできませんけれども、その下流側のほうに歩道といいますか、歩く道を地元の方々に整備して

いただいております。下流に行きますと、河原が広がっております、野川のほうで遊ぶ場所がありますので、そういったところをご利用いただけるようにはなっております。なお、釣りをする場合ですね、遊漁券が必要になりますので、その辺は漁業協同組合さんのほうで販売している遊漁券などをご購入いただくこととなります。なお、野川まなび館でも販売しておりますので、よろしくお聞きしたいと思います。

○浅野敏明議長 10番、鈴木富美子議員。

○10番 鈴木富美子議員 いろんな遊びができて、すごく夢が広がってくるような気がします。が、やっぱりしっかりしたルールを決めながら使用していただければと思います。

次に入ります。水陸両用バスについてお聞きしたいんですが、やまがたアルカディア観光局で運行しまして、5月から8月の間、1日4便で合計56日間、220便、延べ4,805人が乗車しました。バスには観光ボランティアガイド「ながい黒獅子の里案内人」が乗車しておもてなしをしてくださいました。ながい黒獅子の里案内人は、名簿上は30人の会員がいらっしゃるわけですが、実動部隊は10人ぐらいだと思います。会員を増やす手だてとして行ったことはどのことでしょうか、観光文化交流課長にお聞きします。

今後ながい黒獅子の里案内人が対応できなくなる場合も考えられますが、その際はどのように対応するのか考えをお聞かせください。

○浅野敏明議長 赤間茂樹観光文化交流課長。

○赤間茂樹観光文化交流課長 観光ボランティアガイドの皆様には、特に水陸両用バスの運行に際しましては非常にご協力いただきまして、大変感謝してるところでございます。

観光ボランティアガイドの重要性につきましては、さきにもお話しさせていただきましたけれども、やはりこれから関係人口を増やす中で、人と人の触れ合いといいますか、そういうの

が非常に大きな力になってくると思います。そういった面で、観光ボランティアガイドの役割というのは非常に大切なものと認識しております。

現在、観光ボランティアガイドのながい黒獅子の里案内人について、先ほど鈴木議員からは名簿上30名ほどとお話いただきました。実質28名登録、賛助会員制度を設けまして、賛助会員の方はそのほかに12名いらっしゃいますけれども、実際にガイドは行わない方ですので、28名が全てだと思います。この中でもいわゆる、ちょっと言い方は適してないかもしれませんが、即戦力といいますか、何でも案内できるというふうな方が十二、三名だと思っております。観光ボランティアガイド全体の中ではやはり高齢化もかなり問題にはなってきております。したがって、ガイドをしていただける方を増やすという努力は欠かせないことになっております。

このため、市の取組としては、もともと平成27年度までの実践型地域雇用創造事業でまとめた「おらんだの長井検定」の本をベースにしておりますけれども、こちらを少しリニューアルいたしまして、観光ボランティアガイドの皆さんと協議しながら、事業としては、長井商工会議所の事業として取り組んでいただいて、「おらんだの長井検定」をこの3月によく行わせていただいたところでございます。今回、第1回目になりましたけれども、21名受験いただきました。これを契機に、観光ボランティアガイドへの参加を呼びかけているところでございます。

また、ながい黒獅子の里案内人の皆様も独自にガイド募集の事業に取り組んでいただいております。市民向けの「おさんぽ定期便」やアヤマのことを勉強する「あやめの学校」、それから、そのほかに歴史講座なども、会員の研修も兼ねて開催していただいております。精力的に会員の増強に動いていただいているところでございます。

なお、ながい黒獅子の里案内人の事務局についてですが、現在市のほうで行っております。そういった関係もありまして、これから長井市のほうでも会員増加に向けての事業には全面的に支援してまいりたいと思っておりますので、まずは「おらんだの長井検定」を定着させて効果が出るように取り組んでまいりたいと思っておりますのでございます。

○浅野敏明議長 10番、鈴木富美子議員。

○10番 鈴木富美子議員 私も「おらんだの長井検定」はぜひ続けてほしいなと思ってるところです。

ガイドのためだけではなくて、多くの市民にもっと長井市を好きになってもらって、訪れたお客様に、例えば道を聞かれたとき、何かしら知っていると知らないでは長井の印象が大分違うと思いますので、ぜひ多くの市民に興味を持っていただいて、受けてみっかなというふうに思っていたらと思います。

また機会があればですが、小・中・高校生の皆様にも、そんな機会を授業の中でできないものかと思っております。観光文化交流課長への質問ではないと思っておりますけど、小学生なんかの授業には参加されるのでしょうかお聞きしたいと思います。

○浅野敏明議長 赤間茂樹観光文化交流課長。

○赤間茂樹観光文化交流課長 伊佐沢小学校では久保桜の案内という授業、取り組んでいただいております。そのほかの学校では、特にガイド的な案内の取組というようなこと聞いておりませんが、「おらんだの長井検定」のテキストブックの中身が非常に多岐にわたっている内容なんですけど、難しい漢字の中にはありますけれども、小学生の皆さんでも見て分かるような内容になってると思います。今後、学校現場のほうの方々ともいろいろ活用についてもお話ししてみたいなと思います。

○浅野敏明議長 10番、鈴木富美子議員。

○10番 鈴木富美子議員 ぜひ小さい頃から長井市を好きになっていただくためにも、できるならお願いしたいと思います。よろしくお願いします。

次ですが、新採職員の研修といたしまして、観光ボランティアガイドの会長さんより長井市についての講義とあやめ公園での案内実習を行ったとお聞きしましたが、職員の方から感想など聞き取りはしたでしょうか。すぐに効果は出ないと思いますが、新採と限定せず、興味のある方を募集して、職員の研修として定期的に行うてはどうでしょうか、総務課長にお聞きいたします。

○浅野敏明議長 小林克人総務課長。

○小林克人総務課長 ただいまの鈴木富美子議員の質問にお答えいたします。

このたびの観光案内の研修でございますが、近年、長井市出身以外の新規採用職員が多いこともございまして、ながい黒獅子の里案内人から長井の魅力や観光資源の基礎的知識を習得すること、及びおもてなし力向上を目的といたしまして、ながい黒獅子の里案内人に講師となつていただきまして、今年6月の前期の新規採用職員の研修で初めてカリキュラムに組み入れたものでございます。

昨年度までですが、観光分野の研修といたしまして、あやめ公園管理専門員による長井古種に関する講義を座学で行ってりましたが、今年水と緑と花の長井の歴史、また特色を学んだ後にアヤメの花が見頃を迎えてございますあやめ公園におきまして6月21日から25日までの5日間、1日に3人ずつ、計15人の新規採用職員が観光ボランティアガイドながい黒獅子の里案内人の方を講師に迎えまして、あやめ公園内では長井独自の品種、長井古種13種が市天然記念物になっていること等を学び、その後に、実際にあやめ公園内に来られたお客様の案内を体験したものでございます。

研修後に参加者からレポートを提出させていただきますけれども、一部を紹介させていただきますと、水と緑の花のまちである長井市の歴史や文化を知ること、さらに長井市に愛着を持つことができた、学んだことをお客様に説明した際には大変満足いただけ、お客様に長井を知ってもらえてよかった、一人一人に寄り添える人間力が何よりも大切なことであると感じた、私も市役所にお越しいただきましたお客様に笑顔になっていただけるような対応ができるよう精進してまいります、これを機に、長井の歴史や環境について学習し、自信を持って多くの方に長井の魅力を伝えていきたいなど多くの前向きな感想が寄せられております。

市を代表する観光資源の概要を習得し、観光案内人の心配りやお客様に寄り添うコミュニケーション力に触れまして、おもてなしの大切さに気づく有意義な研修になったものと評価しているところでございます。こういった体験は非常に有効であり、今後の仕事に生かせる部分が多くありますので、新規採用職員だけでなく、主事、主任研修など広く取り入れて実施してまいります。

○浅野敏明議長 10番、鈴木富美子議員。

○10番 鈴木富美子議員 なかなかいい感想いただきましてほっとするところであります。

観光ボランティアガイドの中には職員の方もおられます。あくまでもボランティアですから、強制はできませんけど、市として進めていくような募集などはできないものでしょうか、総務課長にお聞きします。

○浅野敏明議長 小林克人総務課長。

○小林克人総務課長 今議員からありましたように、市職員のOBも観光ガイドということで、数名ですけれども、案内を行っているということで、再任用というわけではございませんけれども、今後の長井市の観光につきまして、市職員OBの活用につきましてもいろいろ検討して

いきたいと思っております。

○浅野敏明議長 10番、鈴木富美子議員。

○10番 鈴木富美子議員 ぜひ検討していただきまして、観光ボランティアガイドがずっと続くようお願いしたいと思います。

次に進みます。観光ボランティアガイドは、黒獅子の里案内人だけではなく、チーム・アルクNAGAIの皆さんや、西根地区では草岡の大明神桜対応のガイドさんなどもいらっしゃいますので、連帯感を持ってすべきと思いますが、観光文化交流課長の考えをお聞きしたいと思います。

○浅野敏明議長 赤間茂樹観光文化交流課長。

○赤間茂樹観光文化交流課長 観光ボランティアガイドの案内につきましては、非常に多岐にわたり、広い知識が必要になると思っております。今現在、これに対応できるガイドさんはやっぱり十数名しかいないのかなと思っております。そういったことから、今いらっしゃる十数名の観光ボランティアガイドの皆様のレベルまで、いろいろ養成をして、ほかの方ができるようになるまでレベルアップするというのも一つの方法ではございますけども、こちらについては時間もかかりますし、大変なことだと思っております。そういったことから、分業ということも一つの方法ではないかなと思っております。

今ご紹介ありましたように、例えば駅から歩く企画で、JRの「駅長オススメの小さな旅」という企画がありますけども、こちらについては、チーム・アルクという方々に主に担当していただいております。一部観光ボランティアガイドのメンバーと重複してる方もいらっしゃいますけども、そういった皆さんで毎回企画を立てて楽しくやってるということもございます。こういったことから、長井市内にそういった団体が複数できれば非常にこれは強みになるなと思っておりますので、今後場所ごとに案内できる方や団体ができてくれば、より体制が強くなるのか

なと思っております。

例えばの話でございますが、コミュニティセンター単位にこういった活動団体ができれば非常にありがたいのかなと思っておりますし、一つの方法ではないかと考えております。ただ、団体が複数になった場合ですね、やっぱり統一的な研修というのが必ず必要になると思っております。またそのほかにガイド間の交流事業などもやる必要があるなと思っておりますので、複数のガイドの団体を進めていく上でも、ながい黒獅子の里案内人を中心に連携が取れるような構図をつくって、検討してまいりたいなと思っております。

○浅野敏明議長 10番、鈴木富美子議員。

○10番 鈴木富美子議員 観光文化交流課長がおっしゃったようにコミュニティセンター単位で活動できるという話ありましたけども、コミュニティセンターのほうも多くの行事を抱えていらっしゃるの、なかなか一気にそこには持っていけないと思っておりますけども、やっぱり場所や地域によりましていろんな観光名所があるので、それは理想かなと私も思っているところで、地元の方が案内すれば郷土愛も生まれるかなと思うところもありますので、時間をかけてその辺は進めていければなと思っておりますので、ながい黒獅子の里案内人の方々と話し合いながら、少しずつ前へ行きたいと思っておりますので、よろしくお願ひしたいと思います。

続きまして8番に入ります。案内人については、ボランティアだからこそ親しみがあり、お客様のリピートにつながると思っております。現状ではやまがたアルカディア観光局の事業も増えており、対応するガイドへの要請もさらに増えてくると思われまます。そうすると、ながい黒獅子の里案内人の組織も年々対応が難しくなってくるのではないかと危惧されております。

やまがたアルカディア観光局は誘客事業を行う上で、観光局に参画している各市町の観光協会などと連携して事業を行い、受入れを行って

おりますが、長井市において観光ボランティアガイドの観光事業への連携はどうなっているのでしょうか。また、町によっては、観光協会で観光ボランティアガイドの事務を担っているところもありますので、今後の受入れ体制を考えたとき、長井市の場合、長井市観光協会でボランティアガイドの運営などの可能性はどうでしょうか、観光文化交流課長にお聞きします。

○浅野敏明議長 赤間茂樹観光文化交流課長。

○赤間茂樹観光文化交流課長 まず、長井市における体制でございますが、やまがた観光局の事業企画が立てられた場合に、その相談については、観光ボランティアガイドの会長さんで行っていただいております。その際、そのガイドが可能かどうかということと、ガイドの内容などを精査した上で、人員の配置や日程調整という形になります。その日程調整の部分ですけれども、事務局である観光文化交流課観光交流室のほうで調整をさせていただいております。また、資料が必要な場合は資料の作成なども行っているという状況です。今はこういう体制を取らせていただいております、今のところ効率的に運営できてるのかなと思っております。

さて、ほかの町では観光協会が観光ボランティアガイドの事務局になっていることがございました。確かにそういう体制のところが多いと認識しております。ただ、長井市の場合、ほかの町の観光協会と違うところ、これは大きな違いなんですけれども、大規模な祭り、イベント事業を一手に引き受けていただいております。

そういった観点から、どうしてもガイドの要請が混む時期とイベント、お祭りの時期というのが重なりますので、現状、長井市観光協会では観光ボランティアガイドの事務局を行うことがちょっと難しいのかなと思っております。観光誘客事業というものは、やまがたアルカディア観光局と地元の観光協会、そのほかそれぞれの観光地で活動している団体、市内の事業者、

そして観光ボランティアガイドというような方々が一体となって受皿を担う必要があります。長井市の場合は今のところそれぞれ、やまがたアルカディア観光局で手配したりして動きやすいように連携を取っているというのが現状でございます。そのため、現在も長井市のほうで観光ボランティアガイドの事務局は行っているということになっております。

今後、観光誘客を進めまして、お客様の対応を進めていくに当たりまして、やはりやまがたアルカディア観光局との関わりが非常に大きくなるものだと思っております。やまがたアルカディア観光局を軸といたしまして、地域一体型の連携体制をしっかりとつくる必要があると思います。効率的なことを、それだけを優先するとすれば、やまがたアルカディア観光局とボランティアガイドを直接つないでおいたほうが一番効率的と思われるんですけども、観光協会のいうこともあります。ちょっとそれだけでは解決できない受皿の問題があるということでご理解いただければと思います。

なお、観光協会の話になりますけれども、長井市観光協会には、非常に長い歴史がありまして、その時々でニーズに合わせて運営をしていただいております。近年はやはりメインの長井あやめまつりのほか、ながい黒獅子まつりのように市民が楽しめるイベントを軸に企画、運営していただいております。長井市観光協会の事業で、結果的に市外からの観光誘客に大きく貢献いただいていると思っております。お客様対応という部分につきましては、こうした観光誘客事業を活用した場面での成り立ちが多いことから、どうしてもやっぱり分業という形になりますので、今のところ観光ボランティアガイドの活動を長井市観光協会に担うということにはならないのかなと思っております。

なお、今後もその都度ですね、観光ボランティアガイドの皆様にもご意見をお聞きしながら、

また長井市観光協会につきましても、役員の皆様とお話ししながら検討していくべき物事かなと考えております。

○浅野敏明議長 10番、鈴木富美子議員。

○10番 鈴木富美子議員 お話をお聞きすればするほど、いろんな問題が多いのかなと思ったところですけども、やはりスムーズな観光であったり、ガイドであったりするためには、いろんな面で話し合いをしていただければいいと思いますが、長井市観光協会はやはり業者さんたちでできるところもありますので、強くは言えないところもありまして難しいところではあると思いますけども、よりいい方向に進めていくためにもいろんな話をぜひ行っていただきたいと思いますので、よろしく願いいたします。

9番目に入りますが、水陸両用バスにつきまして、ざぶんって終わったら、今は同じ道を帰っておりますが、同じ道じゃなくてほかの道を回って帰るルートなどを考えてはどうかかなと思っております。例えば長井ダムから平泉橋を渡り、けん玉体験や三淵神社、古代の丘などへ誘客する。また、平野地区の締切堤防やダム周辺の案内の組合せ、そのほかにおいしい食事なども組み入れたりするのはどうでしょうか。今後の展望について、市長の考えをお聞きしたいと思います。

○浅野敏明議長 内谷重治市長。

○内谷重治市長 お答えを申し上げます。

鈴木議員おっしゃるように、現在水陸両用バスは1日4便なんですけども、往復で90分でございます。やはりおっしゃるように、ただ水陸両用バスに乗って、観光交流センター道の駅川のみなと長井からダム湖行って、ダム湖で一周楽しんだ後、またそのまま道の駅川のみなと長井に帰るということだけではなく、大部分の方、8割以上の方が市外の方ですんで、せっかくですから、市内の観光地を回っていただいているような体験とかしていただいたらどうかという

のはごもっともなご提言だと思います。

課題は、ほかのところ回って体験すると、90分で終わらないんですね。そうしますと、4便のところを3便にしなきゃいけないと。そうすると、あれは大変高額なリースでございますんで、採算的に非常に難しくなるし、あと乗る人が限られてしまうと。ですから、やり方としては、道の駅川のみなと長井をスタートしてながい百秋湖を巡っていただいて、そこで違うバスに乗って、オプションって形ですね、そのまま帰られる人と、オプションしたいという人については別途料金になりますけれども、いろんなところを回っていただくということにすると、多分議員おっしゃるご提言についてはうまくいくのかなと思っておりまして、実はそれをやまがたアルカディア観光局のほうでもいろいろ検討したらどうかと。もちろん観光文化交流課のほうでもそのようなことをいろいろ検討しているところでございます。オプションの部分でお金を別途いただきますと、また定期便みたいな形で、運輸局の許可が必要ですが、そういったことなどもクリアして、ぜひそういったことも検討していく必要があるんじゃないかと思っております。

○浅野敏明議長 10番、鈴木富美子議員。

○10番 鈴木富美子議員 やはりなかなか難しいところがあるわけです。しかしながら、市外から来る方は90分のほかに、どうせなら1日体験をしたいと思う方もいらっしゃると思いますので、そんなに人数は多くないと思いますけども、そういったところも、芋煮だったり、そういう山形の食を楽しめるような魅力ある旅行を組んでいただければと私は思いますので、ぜひ検討していただきたいと思っております。

最後になりますが、今は直接長井市に来てもらうのは難しいため、去年はオンラインツアーを企画され、全国各地からの参加があったとお話を聞きました。このような企画は今後ますます

す大切な取組になると思います。一方、これまで行ってきた大規模なイベントは今後難しくなるのかなと心配しております。今まで祭り、イベント事業を企画、実行してこられた長井市観光協会は、これまでの取組でよいのか、組織の在り方についても、今後、これまでどおりでよいのか考えていくときではないかと思いますが、市長はどのようにお考えになりますでしょうか。

○浅野敏明議長 内谷重治市長。

○内谷重治市長 お答えいたします。

まず、観光協会については、私も長井市観光協会と県内、法人化してるところもありますし、市町村の観光協会いろんな形態があると思います。長井市観光協会については、先ほど来、赤間課長ともいろいろ議論なさってましたけども、皆さんボランティアです。それから、役割分担がございまして、行政が担っている部分と、それから、新たにつくったやまがたアルカディア観光局が担う部分、従来の長井市観光協会がございまして、長井市観光協会については、端的に言いますと、長井市、行政側の委託を受けて様々なお祭りなどの事業を、皆さんボランティアで展開いただいていると。その根底にあるのは、まず市民の皆さんに観光を楽しんでもらおうということで、長井市には観光業を専門になさってる人はあんまりいないと思うんですが、観光を業となさってない方がボランティアで、市民みんなで楽しもうと。あわせて、外からもいっぱい来ていただいておもてなしをしようという考え方なんです。

一方で、なぜ我々行政側は観光のほうに税金を使わせていただいて、何とか皆様からご理解をいただいているかという、人口減少がどんどん進む中で、地域の経済がどんどんどんどん、活性化が、輝きが失われてしまうと。そういったところを外から来ていただいた方々に様々な食事とか買物とかお土産とか楽しんでいただきながら、地域にお金を落としていただいて、地

域の活性化を図るということで初めて税金を使うことをご了承いただいていると思っております。

したがって、これからポストコロナの後は確かに少し、今までの大規模イベントとは必ずしもイコールではないんでしょうけども、少しは、様々な条件がついたとしても、やはりそれが大きく変わることはないだろうと思っております。マスクをすとか、様々な制約はついて回るとは思いますけれども、したがって、長井市観光協会について、これからどうするかは、やっぱり長井市観光協会の皆様と相談しないと何とも、これは難しいと思いますし、また一方で、やまがたアルカディア観光局も、今は地方創生推進交付金を使わせていただいているんで、行政でやられるんですね。でもこれが、地方創生推進交付金がいただけなくなると、自前でやってくというのは相当大変です。それを行政で、税金を投じてやるっていったらまた大変です。

したがって、今後の観光の在り方については、やはり費用対効果ということもよく考えながら、やっぱりそのメインは行政じゃなくて民間で、自分たちでやっぱりある程度業として関わっていただく方を増やして、地域経済を活性化していく一つの大きな柱にすべきだと思っております。その中で長井市観光協会の在り方も検討すべきじゃないかなと思っております。

○浅野敏明議長 10番、鈴木富美子議員。

○10番 鈴木富美子議員 市長のおっしゃっており、長井市観光協会は、私も会員でもありますが、市内業者の皆さんの善意で成り立っているなど思っております。今までの長井市観光協会の歴史は本当素晴らしいものがありますので、ぜひこれを生かしながらも、この時代を乗り切ることができるように、やまがたアルカディア観光局と話しながらですが、やっぱり収益事業ができるような組織になればいいと思いますので、その点、今後ともいい方向に向けて頑張りたいと思いますので、よろし

くお願いします。

私からは以上です。

内谷邦彦議員の質問

○浅野敏明議長 次に、順位4番、議席番号7番、内谷邦彦議員。

(7番内谷邦彦議員登壇)

○7番 内谷邦彦議員 政新長井の内谷邦彦です。2つの項目について質問いたします。

最初にふるさと納税事業について伺います。

明確な答弁をよろしくお願ひいたします。

令和3年度の予算では、寄附金は令和2年度比260.8%、14億4,749万円増の20億250万1,000円、繰入金は118.1%、11億6,131万9,000円増の21億4,475万2,000円を見込んでの予算編成となっております。

ふるさと納税については、7月29日の記事で、ふるさと納税の2020年度の寄附総額が約6,725億円で過去最高になり、寄附件数も過去最多で新型コロナウイルスの感染拡大に伴う巣籠もり需要を背景に、各地の返礼品を楽しむ寄附者が増えたためと見られます。

寄附総額は2019年度の約4,875億円から1.4倍に増加、寄附件数は約3,489万件で、制度開始以来12年連続で最多を更新しました。

自治体別の受け入れ額は1位が宮崎県都城市で135億2,500万円、2位が北海道紋別市の133億9,300万円で、同根室市125億4,600万円が続いています。

山形県内では県全体で198万4,566件を受け付け、総額347億2,002万円と、都道府県別では全国5位、県内自治体の最多額は寒河江市で56億7,584万円、昨年度比1.28倍、2位は山形市で36億7,692万円、3位は酒田市で29億5,722万円、長井市は15億7,015万円で、昨年度比3.09倍と

なっております。

一方、ふるさと納税による2021年度の住民税控除額は前年度比1.2倍の約4,311億円で、最も多いのは横浜市の176億9,500万円、名古屋市が106億4,900万円、大阪市が91億7,600万円の順となりました。

ふるさと納税は寄附額から2,000円を引いた額が現在住んでいる自治体の住民税などから控除される仕組みで、当初は豪華な返礼品を提供する競争の過熱が問題となり、2019年6月から、返礼品は寄附額の3割以下の地場産品などの基準を守る自治体のみ参加できる制度に移行しております。

最初に、ふるさと納税担当課長に伺います。

長井市のふるさと納税について、今年度4月からの状況はどのようになっているのかを伺います。

次に、今年は果物関係で霜やひょうなどの被害が発生し、サクランボなどは早々に受付を締め切っていますが、影響はどのようになっているのか、また、市内のほかの果物についての状況は把握されているのかを伺います。

あるサイトを確認しましたら、長井市でのふるさと納税のトップ3が、1位、キリンクラシックラガー350ミリリットル缶、1ケース、2位がキリン一番搾り350ミリリットル缶、24本、3位が米沢牛サイコロステーキとなっているが、この順位の変動はどうなっているのかを伺います。

ふるさと納税の目的の一つに地場産品の普及、地場の産業の促進があると思いますが、この部分について、現状はどのようになっているのかを伺います。

また、返礼品に関して、個人的な感想ですが、あるサイトを見ると、目立つのがキクイモ関連の製品が多いと感じています。ほかに新たな製品の展開について、どのようになっているのか、新たな製品の発掘は考えているのかを伺います。